

資産1億円で早期リタイアする?

日経
2008年
6月28日

する派

1201人

しない派

2919人



家に帰り農業で自給自足すれば、これで十分(40代男性)

投資信託で運用すれば生活費を確保できる(50代男性)

十分なお金があると無駄遣いをしてしまうし、これだけあれば足りる(40代女性)

10年分くらいの生活費として十分だ(50代男性)

年金の受給開始まで過ごせる金額(50代女性)

アパートを建てれば、家賃収入でやっていけるから(40代男性)

ネット調査の軍配は

あなたは
どっち

- 「定年までの年数×現在の年収」より少ないから(30代男性)
- 年2%で運用しても、今の収入を確保できない(40代男性)
- 1年間に500万円使うとして、平均寿命までに使い切ってしまう(40代女性)
- 住宅ローンと子どもの教育費を考えると不足(30代女性)
- 海外で永住するには足りないから(50代男性)
- お金のためだけに働いているわけではないので(30代女性)

念願の移住、悲喜こもこも

移住の夢を描く人は少なくない。兵庫県姫路市に住んでいた天野洋一さん(46)は今、徳島県神山町で夫婦二人暮らし。ともに勤務医だったが、趣味の旅行に割く時間を確保したくて四十歳で退職、同時に移住した。

当時の資産は一千万円ほどだったが、住居は自分で倉庫を改造し、費用はほぼゼロ。農作業の暮らしで、生活費は月約四万円(消費税別)という。

事前の「短期体験」が無難

早期退職し長野県へ移ったが、妻が新しい暮らしになじめず一年で茨城県へ戻るはめに。事前の相談と意思統一が不十分だった、と悔やむ。

思い通りの別荘を建てるなら、一千万円単位の出費となる。移住先の雰囲気や事前につかめれば、無用なトラブルも減らせる。割安な宿泊先を用意した数週間から数カ月の「短期移住体験」(ブライズ・リタイアメント)が有効だ。

長く世界長者番付の一位だったマイクロソフトのビル・ゲイツ会長が、六月末で早期リタイアに「お金がある人は……」との思いを抱く人もいるだろう。資産がどれだけあれば早期リタイアは現実的になるのか。インターネット調査会社のマクロミルを通じて尋ねた(六月中旬実施、有効回答数四千二百二十)ところ、

「資産一億円で早期リタイアする」と答えた人は三割弱だった。

一億円で引退できないなら、少なくともいくら必要なのか。平均では約一億七千四百万円だった。世代別にみると二十代と三十代は二億円を超え、四十代は約一億七千四百万円、五十代では約一億七千七百円に下がった。

一方で「資産は、不動産(一億)という資産は、不動産

老後考えるとまだ足りず

「何歳で引退可能？」を試算

ビル・ゲイツ氏が二〇〇六年に「二年後の引退」を宣言したのは五十歳のときだ。米フォーブス誌による推定資産額は五百八十億(約六兆三千億円)。会長の肩書はそのままだが、経営の一線からは退き、相談役となる。活動の軸足は、自ら設立した慈善事業の財団の運営に移すという。

調査では六十歳以降の生活で必要と考える一カ月の

生活を送るには「だと、約三十九万七千円だった。

資産がすべて金融資産と仮定し、年金などの収入や運用利息などは計算に入らず一億円を取り崩していく

とすれば、何年暮らせるか。「最低限」だと三十五年七月、一億円で「ゆとり」だと二十一年四月月になる。

二〇〇六年の男性の平均寿命(七十九・〇歳)から

逆算すると、「最低限」の暮らしてゆければ男性は四十三歳五月で引退できる計算になる。ただし「ゆとり」を求めるなら、資産一億円では定年ギリギリの五

十七歳八月月まで、やめられないことに。女性(八十五・八歳)なら「最低限」の暮らしても、五十歳二月までやめられない。

一億円を原資に金利生活に入るとしたらどうか。比較的金利が高いといわれるネット銀行の定期預金や個人向け国債をみても、金利は1%程度。「年間で百万円あれば、節約すれば暮らせなくはない」(五十代女性)という声もあったが、実際には厳しいだろう。



も含めた全財産。早期リタイアに必要な金額は、現在の収入と想定する余生の長さから算出した人が多かったが、運用原資として計算した人も。

「四億円程度でビルを購入すれば、現在の収入程度の賃貸収入が期待できる」(五十代男性)との声もあった。

「日ごろ、宝くじが当たったら辞めようと考えている」(三十代男性)といった声があるように、一億円はさすがに大金。二〇〇二年に総務省がまとめた調査によると、定

年退職者の退職金は平均約二千四百万円だった。

若くして一線から引く人がいる米國とは異なる「勤労観」を反映し、早期リタイアを考えない人も少なからずいた。「お金があっても働かない人間タメになると思う」(三十代男性)というわけだ。

一方、第一生命経済研究所の調査によると、子どもが両親から相続した金融資産の合計は、平均約二千二百万円(一人っ子的場合)というデータがある。「子孫に美田を残さずに人生を終えたい」という意見の人もいるが、使い切るというのなかなか難しいようだ。